

令和5年7月6日

関係者各位

青ヶ島村立青ヶ島中学校
校長 鉢呂 哲也

「青ヶ島中学校への離島留学生の募集周知のお願い」

日頃より青ヶ島中学校の教育活動にご理解とご厚情を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

青ヶ島中学校は、令和4年度に中学生が1人もいなくなるという休校の危機に見舞われましたが、村民の方のご尽力により中学生の離島留学が始まりました。令和4年度は3名、令和5年は2名の生徒が島内の里親の元から元気に学校へ通っています。

この留学受け入れによって村内に子供たちの声が増え、村の中が活気づきました。また、内地から島にやってきた中学生たちは、大自然の中での暮らしで五感が養われ、学校の勉強や日常のいろいろなことに対して前向きに取り組むように変化していきました。

日本一小さな自治体の青ヶ島村にとって、留学生の受け入れにより学校の存続に光が見えてきたこと、それによって教職員の確保が継続されたことも、大変大きかったのではないかと感じています。6月より村では今後を見据え、島留学制度についての話し合いがはじまりました。

まだ、個人の方の思いによる取り組みの離島留学ではありますが、ぜひ継続していただきたいと思います。

大変恐縮ではございますが、添付の資料をご参照いただき、情報周知にご理解とご協力いただきたくお願い申し上げます。



(詳しい内容はこちらのQRコードからも確認できます)